



# 東京大学理学系研究科・理学部ニュース

2008年11月号 40卷4号

<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/>

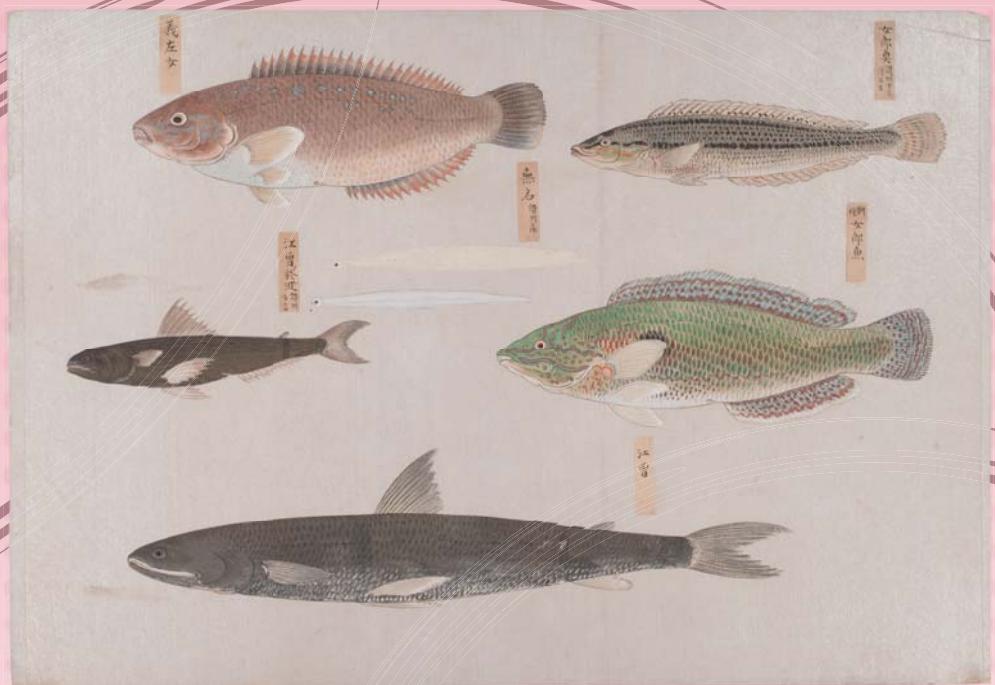


上から、「杉魚 又加持幾 又奈々子魚」(すぎうを, シマイサキ),「飛魚 漢名文鰆魚」(とびうを, トビウオ),「笛吹」(ふゑふき, ハマフエフキ幼魚)。

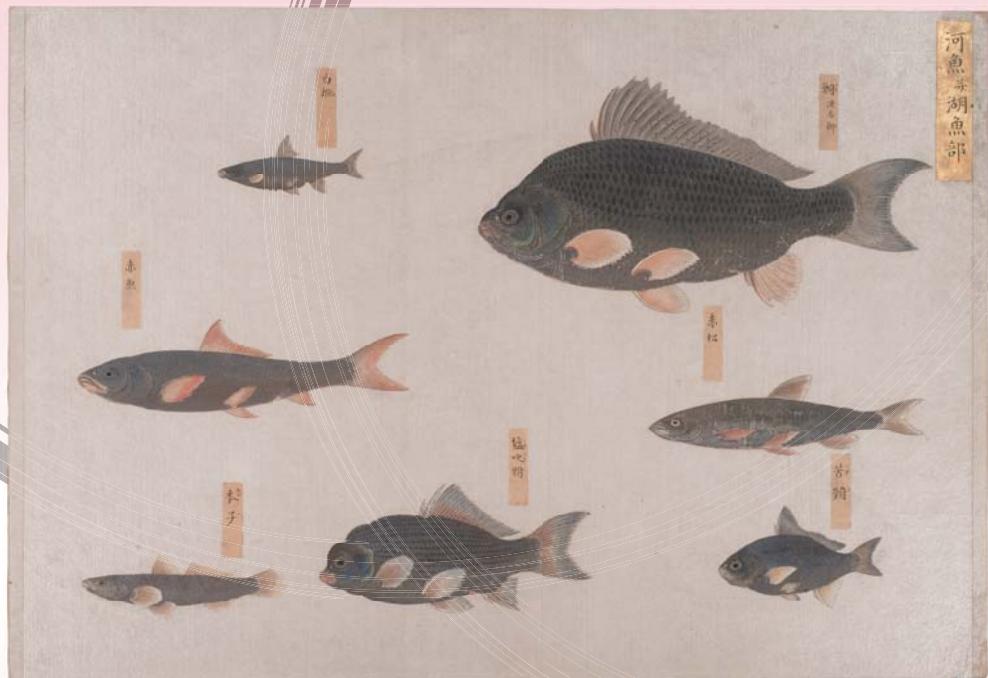
※ ( )内は「衆鱗図」記載名、現和名。

～発掘 理学の宝物「衆鱗手鑑」より～

**特別記事：南部陽一郎先生のノーベル賞受賞**



左上から、「義左女」(きざめ, ホシササノ/ハベラ♂), 「女郎魚 讃州方言 邊」呂古(べろこ, キュウセン♀), 「無名 讃州産」(該当項目ナシ, マアナゴの葉形仔魚[2匹とも]), 「江曾ノ於波」讚州方言(ゑそのをば, オキエソ), 「別種 女郎魚」(あをべろこ, キュウセン♂), 「江曾」(ゑぞ, マエソ)。



左上から、「白鱗」(白ハエ, ハス幼魚), 「鮎 漢名鯽」(鮎, ギンブナ), 「赤魚」(赤魚, ウダイ), 「赤松」(赤松力カラ, オイカワ), 「本子」(ボンノコ, ハゼ科の一種), 「鹽吹鮎」(シオ吹鮎, ギンブナ紹頭個体), 「苦鮎」(ニガ鮎, ヤリタナゴ)。

※ ( )内は「衆鱗図」記載名, 現和名。

～発掘 理学の宝物「衆鱗手鑑」より～